

# 令和4年度 日置市教育委員会定例会(3月)

- 日 時：令和5年3月20日(月) 午後2時00分～午後3時00分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
- 出席者：奥教育長  
委 員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員  
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)  
立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)  
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)  
宮前(教育総務課長補佐)

## 1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会3月の定例会を始めます。

## 2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回2月の議事録の承認をお願いいたします。お配りして  
おりましたが、修正等がありましたらお出してください。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(特になし)

それでは議事録は承認していただけますか。

(異議なし)

では2月の議事録は承認といたします。

### 【前回の議事録承認】

署名・押印は、胸元委員と鶴木委員をお願いいたします。

## 3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告に移ります。中島委員からお願いいた  
します。

中島委員： それでは先月の定例会以降の出席等についてご報告させてい  
たします。

3月14日、第2回日吉学園卒業式に出席させていただきました。本年度の卒業生は22名でしたが、2名の欠席者がおり、20名の出席となっております。保護者、在校生、それから来賓の出席の下、会場に入場し、式が始まりました。上校長先生から卒業証書が授与され、式がスムーズに流れていきました。

学校長の式辞では「コロナ禍で学業や部活動の制限、学校行事も予定通り行われえないなどの生活が続き、先の見えない中で当たり前のことが体験できない日々が長く続いた。日々成長し、曲がり続ける運命を変えるのは自分自身であり、目的をしっかりと持ち、潰れることなく進んでほしい」と述べられました。

来賓祝辞の後、在校生の送辞、卒業生からの答辞が続き、制限のある中でも共に生活できたこと、また、助け合い、支え合えたことへの喜びと感謝の思いが伝えられました。全校合唱「絆」、校歌斉唱、卒業賛歌「3月9日」の歌声は胸に残る素晴らしいものでした。私も自然と胸が熱くなり、巣立つ卒業生一人一人の輝く未来に幸多きことを願う卒業式となりました。

3月18日、上市来中学校閉校式は、私用にて都合がつかず欠席させていただきました。以上です。

奥教育長： はい。ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： 報告させていただきます。

3月5日、臨時の教育委員会が開催されましたので、出席させていただきました。

10日は、伊集院地域の「公民館講座合同閉講式」に出席し、受講生に修了証を授与させていただきました。当日は開会のあいさつで、奥教育長が「『定年退職をしたら趣味を5つ持つ』と先輩から言われたが、自分は3つしか思い当たらない」と話され、さらに「受講に伴う今年度の締め括りを来年度へ向けての足掛かりにしてほしい」と述べられました。

来賓祝辞に立たれた永山市長は「体調を崩し、コロナに感染していることが分かり、公務から離れたこと」「その間子どもが濃厚接触者になったため、自宅で世話をしなければならなかったこと」を語られ、「子どもがよくテレビを見ているので『お父さんと遊ぼう』と誘って絵を描くことにした。初めはポケモンやピカ

チュウの絵を描いていたが、虫や動物などの絵と一緒に描かせたところ、子どもが『絵を上手になりたい』と意欲を示したこと」を語られました。「一人では学びは続かない。学びは地域で醸成していくもので、それが学びの循環につながり、さらに学びが深まる」と述べられました。

その後、本市の社会教育の振興・発展に尽力された4名の方に、教育長から表彰状が手渡されました。講座生の活動発表では、舞台発表の部に伊集院北地区公民館の「韓国語講座」、伊集院地区公民館の「ハーモニカ講座」、市中央公民館の「中級韓国語講座」の受講生が活動の成果を発表し、土橋地区公民館の支役員の方が土橋地区の公民館講座について実践発表をされました。

続く公演では、日置市で活動しているNPO法人「残していきたいかごつま弁協会」の方々が、「かごつま弁で笑もんそかい」と題して、「あいさつ」「朗読」「劇」「歌」などを披露されました。代表の方が「鹿児島弁の中でも『麓ことば』と言われる言葉を聞く機会がなくなり、鹿児島弁は絶滅危惧種になりつつある」と語られ、「日置市を鹿児島弁が聞ける市にしたらどうかと考えている」と語られました。

普通の鹿児島弁と麓ことばを、宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」を朗読することで、その違いを聞き分けてもらうという試みでは、普通の鹿児島弁では「雨ニモ負ジッ 風ニモ負ジッ 雪ニモ 夏ノ暑サニモ 負ン」となりますが、麓ことばでは「雨ニモ負モサジッ 風ニモ負モサジッ 雪ニモ 夏ノ暑サニモ 負モサン」となります。麓ことばは、柔らかな表現で上品な印象を受けました。昔の薩摩では武家の人達が使っていた言葉だったようです。

14日は伊集院中学校の第76回卒業式に出席し、教育委員会告辞を行いました。初めに、173人の生徒のうち欠席者を除く169人の一人一人に、校長から卒業証書が手渡されました。

校長式辞では「コロナの影響で小学校最後の1カ月間が緊急事態発出のため自宅待機となって奪われ、中学校入学後もコロナに翻弄された3年間であったこと」「マスク着用で笑顔に触れる機会が少なく、校歌も歌えず給食も黙食が続いたこと」「修学旅行も県外への移動が制限され、県内での1泊2日の旅行に変更して実施したこと」「体育祭も入校できるのは保護者1人のみで、し

かも校舎内からの見学であったこと」など、生徒の心情に寄り添った話をされました。

さらに「自分という人間は4人いる」と話されました。1人目の自分は「皆が知っている自分」、2人目の自分は「自分は知っているが他人は知らない自分」、これを劣等感と表現されました。3人目の自分は「自分は知らないが周囲は知っている自分」、これを盲点という言葉で表現されました。4人目の自分は「自分も周囲も知らない自分」、これを将来の自分、人生の伸びしろと表現されました。「このような自分をしっかりと認識し、未来に向かって自分自身が道を選択し、可能性に向かって進んでいってほしい」と餞の言葉を述べられました。

その後、市長及びPTA会長の祝辞と続き、在校生送辞では「卒業生の方々の何事にも一生懸命に取り組む姿に多くのことを学び、尊敬の念を抱いた」と述べ、「これからは在校生が力を合わせて、より良い学校とするよう努力します」と誓いました。

卒業生答辞では「小学校卒業時から中学校3年間、様々な制約を受けながらも、家族の支えや先生方の指導で中学校生活を無事に終えることができたこと」への感謝と、「高校入試に臨むに当たって心が押し潰されそうになる中、仲間の励ましに不安が払拭されたこと」「竹灯籠づくりにみんなで取り組んだこと」などを述べ、最後に再び教師、保護者、卒業する仲間への感謝を述べて締め括りました。

保護者代表あいさつでは、コロナに始まりコロナで終わった子どもの中学校生活を述懐し、卒業式に保護者2人の参加を認めてもらったことへの感謝を述べられました。最後に「マスクを外した子どもの本当の顔を卒業アルバムで確認して、街で会ったら声を掛けてほしい」とお願いされました。最後に全員で校歌を斉唱し、卒業式を終了しました。

その後、3年生全員がステージに立ち、卒業記念として「旅立ちの日に」という曲と「僕のこと」という2曲を合唱して、拍手の中で退場していきました。

18日は、上市来中学校の閉校記念式典に出席しました。生徒や保護者、さらに卒業生や地元の方、旧職員など多くの方々の出席があり、昭和22年に創立され、幾多の全国表彰や全国大会出場な

どの華々しい実績を積み上げ、これまでに5,157人の生徒が在籍した中学校として、76年の歴史に幕を下ろすに相応しい式典になりました。最も生徒数が多かった昭和37年には、522人の生徒が在籍した学校でしたが、近年の少子化の波に抗えず、令和4年度は22人の生徒が在籍するのみになっていました。

式典では初めに奥教育長の式辞があり、「14日に卒業式に出席し、6人の卒業生を送った学校に、再び閉校式で訪問することになったことに感慨深いものがある」と語られ、学校の沿革や数々の功績を紹介された後、東市来出身の永山在兼氏を縁とする北海道弟子屈町の川湯中学校との交流が3年ぶりに復活したことや、上市来中学校の統廃合への道のりを紹介され、「学校は76年の歴史に幕を下ろすが、輝かしい伝統はこれからも心に残り、長く語り継がれるとともに、東市来中学校へ受け継がれていく」と結ばれました。

続いてあいさつに立たれた永山市長は「特別授業で2時間話をさせてもらった時、生徒達から地域を思う質問を受けたことが印象に残っていること」や「学校がなくなることへの惜別の情が深まること」「地域とともに発展し地域の振興に資する学校は地域の拠点であったこと」「その中で子ども達が切磋琢磨しながら成長していったほしいという保護者の願いから、東市来中学校への統合を選択されたこと」「しかしながらも閉校までの道のりでは様々な葛藤があったであろう」と学校や保護者の気持ちを忖度されながらも、「学校が消滅することには断腸の思いであろうけれども、子ども達が地域と繋がり、学んだことへの誇りをもって地域社会へ貢献することを期待したい」と結ばれました。その後、校長のあいさつ、来賓を代表して池満市議会議長のあいさつと続き、上市来中学校のこれまでの歩みが映像で紹介されました。

お別れの言葉では、2年生の小園太陽君が「小学校6年生の時に上市来中学校の閉校を聞かされた。中学校に入学した時に、これからの3年間を思い描きながら決意を新たにしました。小・中合同運動会は最後となったが、午後からは地域運動会を行い、多くの住民や先輩の方々が参加してくれた。この環境がなくなるのが寂しく、この学校を卒業したかった」と閉校を迎えるに当たっての複雑な心境を語りつつ、「東市来中学校に3年生として編入する

が、頑張っ後輩を引っ張っていきたい」と決意を述べてくれました。お別れの言葉の後、中学生全員がステージに上がって「手紙～拝啓十五の君へ～」を合唱し、続いて、校旗返納、校歌斉唱と続き式典が終了しました。

その後、薩摩剣士隼人のショーがありましたが、ショーの準備をする幕間にサプライズ演出として、2人の方に焼酎のプレゼントが行われました。1人目は上市来中学校創立時に入学した90歳の男性で、もう1人は最も遠方から出席したという茨城県在住の女性でした。女性は9時間かけてやって来たそうです。薩摩剣士隼人のショーの後に、生徒達が手作りして地元のバス停に設置するというベンチがお披露目されました。

最後は、閉校記念碑除幕式が行われ、中央に「母校は光 未来へ続く希望と勇気を ありがとう」と書かれた石柱が置かれ、右側に校訓や校歌、学校の沿革などが書かれた石碑と、左側に学校の全景や思い出の写真などが彫られた石碑の3つから構成される記念碑が姿を現しました。以上でございます。

奥教育長： はい。ありがとうございました。胸元委員、お願いいたします。

胸元委員： はい。報告いたします。

3月14日、吹上中学校第45回卒業式に出席いたしました。男子33名、女子29名、計62名がこの佳き日を迎えることができました。入学式からコロナウイルス感染症により活動を制限されつつも、できることを考え、取り組んだ実りある3年間だったと思います。「今年は全員合唱を行いたい」と生徒からの強い要望があり、合唱が実施されました。1曲だけではありませんが、3年間で初めての全員合唱に保護者は大変感動していました。それぞれの道を立派に歩んでいかれることを心から願いました。

3月16日、令和4年度日置市高齢者福祉計画及び介護保険事業策定・評価委員会に出席いたしました。3つの基本目標と15の主要施策を設定し、実施内容、自己評価、課題と対応、現在の実績が報告されました。高齢者の居場所、生き場所、活かす場所づくりを行政、地域、住民、医療関係者等が協働で取り組むよう話し合いがされました。

同日、令和4年度日置市地域包括支援センター運営協議会に出

席いたしました。令和4年度事業報告及び事業評価についてと、令和5年度事業課題について話し合われました。地域包括支援センターでは、今年度新規の取組として、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現を目指した全庁横断的な連携体制「オールひおきで市民の暮らしを考える庁内連携会議」を設置しました。検討会では「高齢者の活躍の場づくりを推進し、担い手不足を解消」をテーマに、農林水産業、学校、介護における人材不足の課題を全課1名以上参加の下、検討を重ねました。検討会で検討された内容については、今後の事業運営や課同士の連携した取組に繋げていく予定であると報告されました。以上です。

奥教育長： はい。ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

3月5日、教育委員会社会教育課主管の令和4年度日置市ソフトバレーボール交流大会が、日吉体育館で開催されましたので出席しました。大会はコロナ禍も落ち着いてきたせいも、昨年度は12チームの参加、今年度は25チームと倍増して、各チームとも日頃の練習の成果を如何なく発揮し、とても熱気溢れる大会となりました。決勝戦は、見る人が「すごいな」と感動するようなプレーが随所に見られました。このレベルの高さと勢いが、5月21日、吹上浜体育館で開催の国体デモンストレーションスポーツソフトバレーボール大会に繋がっていくと思われました。

3月14日は、天気にも恵まれ、東市来中学校の卒業式が、3年生、保護者、教職員のみで挙行されました。まず、3年生の1組から3組までの、男子52名、女子37名、総勢89名が吹奏楽部の生演奏の下、充実の3年間で成長した堂々の歩みで入場しました。そして、マスク無しの生徒一人一人が、凛とした声や態度で、岡田校長先生より卒業証書を授与される様子を拝見し、引き締まった東市来中の良き伝統を感じる事ができました。

岡田校長先生の式辞の中で、昨年のカタールでのサッカーワールドカップで大活躍した浅野琢磨選手について話されました。

「前回のロシア大会では選手に選ばれませんでした。そこで諦めることなく、次のカタール大会を目指して4年間コツコツと準備をしてきた結果が、今回の大活躍に繋がりました。卒業生の皆

さんのこれからの人生は、平坦でなく挫折もありますが、浅野選手のように諦めずに、自分の夢に向かって邁進してください」と述べられました。

東市来中学校の伝統となっていますが、送辞の在校生代表、同じく答辞の卒業生代表あいさつは原稿を読むことなく、全文暗記して話す姿に驚き、会場の皆さんが真剣に聞き入っていました。送辞では3年生が「合唱大会・体育大会・文化祭・生徒会を通じて、何事にも率先して、常にどうすれば学校が良くなるか、明るくなるかと考えながら行動されていました。東市来中の良き伝統を、これからも私達が守っていきます」と力強く語っていました。答辞では「この3年間、コロナで色々と制限を受け、修学旅行も何回も延期となり、最終的には県内旅行となりましたが、一緒に行動することで、同級生と絆を深めることができました。体育大会では、各組の応援団を競う中で、汗と涙と感動を味わうことができました。そして、温かく時には厳しく見守り育ててくれた先生方や、体調や進路、部活動での悩みや不安に温かく向き合ってくれた親に、ありがとうございますと感謝の言葉を贈ります。今日は在校生がいないのが残念ですが、東市来中で色々なことを学んで、成長できました。全ての方々に感謝して、明日から将来に向かって頑張ります」と語りました。

卒業式終了後に、卒業生全員で最後の合唱「旅立ちの日に」を歌い、心を込めた美しいハーモニーが体育館内に響き渡りました。最後の卒業生退場は吹奏楽部のゆずの「栄光の架橋」の演奏の中、一人一人がしっかり前を見て、希望に満ちた爽やかな卒業生退場の風景でした。

3月15日は、土橋幼稚園の卒園式に出席しました。今年度は年長組の女兒1人だけの卒園式でした。昨年12月に入園された園児ですが、あいさつの元気な声、お辞儀の姿勢など、とても凛とした行儀の良い園児で爽やかな雰囲気を出してくれました。後ろに座っている年中組の3人の園児もしっかりと前を見ていました。先生方や保護者にありがとうございますと感謝の心を素直に表現していて、心を込めた教育指導、躰の徹底がなされていて、とても嬉しくなりました。4月から土橋小学校に入学して、素晴らしい自然環境や地域の方々の愛情に育まれて健やかに成長していくよう

にと願うことでした。

日吉地域の吉利中区では、400年前の島津義弘公の時代に疱瘡が流行したことから、疫病を鎮めるために疱瘡踊りが広まり、その後、幾多の変革を経ながら現在まで引き継がれてきております。昨日3月19日、吉利中区疱瘡踊りを伊勢神社境内で奉納披露しました。最近のコロナという疫病を鎮める意味からも、この疱瘡踊りに関心を持たれる方も多く、日置市以外からも多くの見物人やカメラマンの参加がありました。日置市民族芸能等伝承活動支援事業交付金で踊り子の着物等を買って揃えており、過疎の村が疱瘡踊りで大いに賑わいました。

3月5日の臨時教育委員会、3月18日の上市来中学校の閉校式は鶴木委員の方から詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。以上でございます。

奥教育長： はい。ありがとうございました。

私からは、まず3月議会についてです。2月21日から始まっており、まだ会期中ですが、3月6日から8日にかけて本会議が行われました。

補正予算案、当初予算案の議決、それから一般質問では、今回はお2人の議員からご質問を頂きまして、1人は給食費のことです。今年度から来年度は、物価高騰、あるいは保護者負担を軽減するために市の方で予算を組んでいただいて、軽減策をとっていますが、今回の質問ではそれは評価しながらも「無償化はできないのか」というご指摘でございましたので、「現時点では考えていない」と答えております。

それからもう1つは、聴覚障害に関わるご質問で、APD、LiDという私も初めて聞いた言葉でしたが、聴覚情報処理障害をAPDと言うそうです。LiDは聞き取り困難症ということで、全く聞こえないわけではないが、聞き方にかなり困難のある方が一定程度いるということで、私共へは「学校において、そういう方への対応をどうしているか」というご質問でございました。これには「聴覚障害に関わらず、全ての子ども達の困り感を想定しながら、それに対応した教育活動を展開していきたい」と回答しております。

2月22日は、駅伝の合同反省会がございました。県下一周駅伝

が総合優勝、それから女子駅伝はBクラス優勝で、どちらも素晴らしい結果に終わりましたが、その結果報告と健闘を称える会でもございました。来年度以降に繋げていただきたいと思います。

卒業式、閉校式関係は、皆様からございましたので繰り返しません、どの学校も思い出に残る良い式ができたと思っております。以上で報告を終わります。

#### 4 議事

##### 【議案第11号 日置市立学校給食センター運営要綱の一部改正について】

奥教育長：今日は議案が4つございますので、ご審議方をよろしくお願いいたします。

まず、議案第11号日置市立学校給食センター運営要綱の一部改正について提案をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長：それでは1ページです。議案第11号は日置市立学校給食センター運営要綱の一部改正についてでございます。これは物価高騰の影響により保護者が負担する給食費を改正したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定により提案するものでございます。

3ページの新旧対照表をお開きください。左側に新しい給食費の負担額について記載しております。上から、園児1人当たり月額4,000円、児童1人当たり月額4,400円、生徒(中学生)1人当たり月額5,200円に改正するものでございます。また右側に記載してあるように、中学校で伊集院が4,700円、東市来と日置南が4,750円と給食費の負担額が違っておりましたが、これを今回の改正で3センター統一いたします。附則として、この告示は令和5年4月1日から施行するものでございます。

また、この値上げ分については、先程、教育長からも説明がございましたが、2月の定例教育委員会で当初予算について説明しましたとおり、市の方で値上げ分の補助を行いますので、実質保護者負担はないとご理解していただきたいと思います。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

奥教育長：ただ今、給食センターの運営要綱の改正について説明がございましたが、委員の皆様からご質問・ご意見等ございませんか。

はい。鶴木委員。

鵜木委員： 今は市の補助があり、保護者の負担は実質生じないということですが、例えば、何年間かは補助があるが後はこの値段に変える形になるのか、それともずっと補助が続く形になるのでしょうか。

奥教育長： はい。見通しについて、久木崎事務局長。

久木崎局長： 予算は単年度の要求になりますが、教育委員会としては、こういった保護者負担の軽減策は続けていきたいと考えております。

令和4年度は国の地方創生臨時交付金を活用した補助を行いました。令和5年度以降は市の一般財源の持ち出しになります。厳しい状況ですが、市長の施策でも子育て世代の支援として、給食費の負担軽減を図っていきたいとお考えでございますので、できる限り続けていきたいと考えております。予算の限られる一般財源ですので、毎年要求をしていきたいと考えております。以上です。

鵜木委員： ありがとうございます。たしかに予算が厳しい中でしょうけれども、できるだけ続けていただきたいと思います。よろしく願います。

奥教育長： はい。ありがとうございました。他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。それでは議案第11号は原案のとおり議決とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、議案第11号は議決といたします。

### **【議案 第11号 議決】**

### **【議案第12号 日置市立中央図書館長、日置市中央公民館長及び社会教育指導員の任命について】**

奥教育長： 議案第12号日置市立中央図書館長、日置市中央公民館長及び社会教育指導員の任命について提案をお願いします。立和名課長。

立和名課長： 議案第12号は日置市立中央図書館長、日置市中央公民館長及び社会教育指導員の任命についてでございます。これにつきましては、日置市立中央図書館長、日置市中央公民館長、社会教育指導員を任命したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第9号の規定により提案をするものでございます。

5 ページをお開きください。まず、日置市中央図書館長でございます。氏名は橋口忠生さんです。4年目になります。令和2年4月から図書館長ということで現在に至っております。

6 ページ、日置市中央公民館長でございます。須田木優二さんでございます。3年目になります。令和3年4月から館長を務めていただいております。

7～10ページになります。社会教育指導員4名でございます。初めに新屋盛美さん、5年目になります。昭和31年4月から指導員をしていただいております。

8 ページ、有村孝一さんです。2年目になります。令和4年4月から指導員をしていただいております。

9 ページでございます。新規の方で氏名は下園昌三さん、生年月日は昭和32年8月4日、住所は鹿児島市伊敷台にお住いでございます。昭和55年3月に鹿児島大学教育学部を卒業後、県内の小学校で教諭・教頭・校長等をされております。日置市にもご縁がありまして、伊集院小学校で教諭、吉利小学校で教頭、永吉小学校で校長として定年退職をされております。定年退職後は鹿児島市教育委員会の社会教育指導員を務められ、今月末で退職となりますので、4月から日置市の方でということでございます。

10ページ、和田章一さんでございます。昭和30年1月17日のお生まれです。鹿児島市星ヶ峯にお住まいです。昭和52年3月に鹿児島大学教育学部を卒業後、県内の小学校で教諭・教頭・校長をされた他、霧島町の教育委員会で社会教育課長、県教育委員会社会教育課で社会教育主事等をされております。定年後は、鹿児島市の松元公民館長、それから十島村教育委員会の社会教育指導員等をされ、今月末で県中央児童相談所児童生活指導員を退職されますので、4月から指導員をお願いしたいということでございます。以上でございます。ご審議方よろしくお願いたします。

奥教育長： はい。ありがとうございます。ただ今、説明があったとおりでございます。新しい方がお2人、他の方は更新する方でございます。よろしゅうございますか。

(特になし)

それでは、議案第12号は議決とさせていただきます。

鵜木委員： 少しよろしいでしょうか。この4人の指導員の方々がどちらに

いらっしゃるか教えていただけますか。

立和名課長：すみませんでした。7ページの新屋盛美さんは吹上地域で、吹上中央公民館におられます。8ページの有村孝一さんは東市来におられます。下園昌三さんは本庁の予定でございます。和田章一さんは日吉の予定でございます。

鵜木委員： はい。ありがとうございました。

### **【議案 第12号 議決】**

### **【議案第13号 東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係規則の整備について】**

奥教育長： 議案第13号東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係規則の整備について提案をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長： 議案第13号は東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係規則の整備についてでございます。東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴いまして、所要の改正をし、あわせて条文の整理を図るため、規則の一部を改正したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号及び第7号の規定により提案するものでございます。

12ページをお開きください。この別紙で改正内容を表しておりますが、分かりにくいので、13ページの新旧対照表をご覧いただきたいと思っております。

第61条の2、「同条本文中」とあるものを「同条中」と改めるものでございます。また第61条の3、第2項の表を新旧対照表のとおり上市来中学校の項を削除しまして、整備をするものでございます。

14ページです。この入学通知書については、右上の「第 号」とあるものを削除するものでございます。

次に第2条でございます。日置市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域に関する規則の一部改正でございます。第3条は日置市立給食センターの一部を改正するものでございます。15ページと16ページに新旧対照表がありますように、上市来中学校の項を削除することになるため、改めるものでございます。この規則は令和5年4月1日から施行するものです。以上で説明を

終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

奥教育長： はい。ありがとうございました。学校統合に伴う規則の整備で  
ございます。よろしゅうございますか。

(特になし)

では、ただ今の議案第13号は議決とさせていただきます。

### 【議案 第13号 議決】

### 【議案第14号 東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係規程の整備 について】

奥教育長： 議案第14号東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係規  
程の整備についてでございます。説明をお願いいたします。

久木崎局長： 議案第14号は東市来中学校及び上市来中学校の統合に伴う関係  
規程の整備についてでございます。東市来中学校及び上市来中学  
校の統合に伴い、規程の一部を改正したいので、日置市教育委員  
会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定により提案する  
ものでございます。

18ページからが改正内容でございます。第1条は日置市教職員  
住宅の管理規程を一部改正するもので、上市来中学校校長住宅と  
教頭住宅を廃止することから、19ページの新旧対照表のとおり、  
その項を削除するものでございます。

第2条は日置市立小・中・義務教育学校の事務支援室運営規程  
の一部を改正するもので、これも上市来中学校が統合されること  
から、20ページの新旧対照表のとおり上市来中学校の項を削除す  
るとともに、拠点校について上市来小学校と美山小学校を鶴丸小  
学校の連携校に加えるものでございます。以上で改正内容につい  
ては説明を終わりたいと思います。

附則として、この規則は令和5年4月1日から施行するもので  
ございます。以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひ  
いたします。

奥教育長： はい。関係規程の整備ということで、教職員住宅と事務支援室  
の構成について提案をいたしました。委員の先生方からご質問ご  
ざいませんでしょうか。

鶴木委員： よろしいですか。この校長住宅と教頭住宅が削除されて、今後

どのようになるか見通しがあるのでしょうか。

奥教育長： はい。久木崎事務局長、お願いします。

久木崎局長： 今後の教職員住宅の考え方では、教職員住宅を新たに更新するような建替えなどの計画はありません。公共施設の管理計画の方針に基づきまして、できるだけ公共施設は削減していき、教職員住宅については民間の住宅を利用していく方向で今は考えているところです。

当然、今使える住宅は使っていきながら、その方向へ転換していきたいという考えでございます。教職員は民間の住宅を借りて住んでいただき、老朽化した教職員住宅は処分をしていく考えでございます。

鵜木委員： 教頭住宅は平成3年建設で、まだ20年程ですが、もう活用しないということですか。

久木崎局長： 方向性としては、上市来中学校は廃校となりますので、民間へ公募をして売却していきます。

鵜木委員： そこが確認したかったところです。ありがとうございます。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいですか。

事務支援室の方もよろしいですか。事務のグループを今までは上市来中校区で1つ作っていたものを無くして、鶴丸小に東市来を1つにまとめるということです。よろしいでしょうか。

(特になし)

それでは、ただ今の議案第14号は原案のとおり議決とさせていただきます。よろしいですか。

(異議なし)

では、議案第14号は議決いたします。

### **【議案 第14号 議決】**

## **5 その他**

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長

- (4) 各支所教育振興課長
  - ア 東市来支所教育振興課長
  - イ 日吉支所教育振興課長
  - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

## 6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会 3 月の定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

終了

署名委員 \_\_\_\_\_ (印)

署名委員 \_\_\_\_\_ (印)